

事件や事故から自分を守る

生活安心課 ☎ 36-7144

被害を未然に防ぎましょう

全国で発生する詐欺や交通事故の被害者は、高齢者が大半を占めています。
振り込め詐欺被害者の9割は、60歳以上。交通事故死者の5割は、65歳以上となっています。
事前に、心構えの確認や相談などをして、被害を未然に防ぎましょう。

不審電話に注意!

▼10年前に比べ、全国の犯罪件数は大幅に減ってきたものの、息子や家族をかたる不審電話は後を絶ちません。

島田市は、人口1人当たりの不審電話の件数が県下最多であり、さらに今年に入って、詐欺被害も報告されています。家族を装った不審電話が掛かってきても、話の内容をうのみにせず、ただちに本人への確認や相談をしましょう。最近の不審電話の具体的な内容は次のとおりです。

- ▽ 息子に成り済ました電話
- ▽ 「重要書類が入ったかばんを無くし、300万円が必要、貸してほしい。携帯もなくしたので、公衆電話で掛けている」
- ▽ 「仕事でトラブルになり、お金を用意してほしい」

架空請求詐欺に注意!

▼振り込め詐欺の中でも、高齢者だけでなく、若い人たちも被害に遭っているのが架空請求詐欺です。不審な請求などが届き、疑問に思ったら、島田警察署または市役所などの窓口へご相談ください。



▼身に覚えがないことで、次のうち、ひとつでも該当したら要注意です。

- 【不審な請求など】
- ▽突然、料金を請求される。
- ▽ウェブサイトで利用の未払い金を請求される。
- ▽訴えられていると言われる。
- ▽解約、退会の手数料を請求される。

【相談ダイヤルおよび窓口】
 島田警察署 ☎ 37・0110
 生活安心課 ☎ 36・7144

交通事故防止のための 反射材着用とライトオン

県では9月から2月までの間、午後4時からの車両（自転車も含む）のライト点灯を呼び掛けています。暗くなる前にライトを点灯すれば、歩行者や自転車の発見の遅れが減り、交通事故を防ぐことができます。また、歩行者は運転手の目に留まるよう明るい色の服装を心掛け、反射材を着用しましょう。特に自発光式反射材は、ライトがあたりなくても、自身の存在をアピールでき、より効果的です。

【静岡県の交通事故の特徴】
 1月1日から9月30日までの交通事故件数、死傷者数において、高齢者の割合が増加しています。

交通事故件数	うち高齢者
2万3810件	7466件
負傷者数	うち高齢者
3万1266人	4656人
死者数	うち高齢者
109人	58人

※島田市の交通事故死者数は2人（うち高齢者1人）



指名手配被疑者の 検挙にご協力を!

▼8月末現在、全国の警察署から指名手配されているのは、凶悪事件などで警察庁が指定している「重要指名手配被疑者」をはじめ、約750人に上っています。

これらの被疑者は、殺人・強盗などの凶悪事件のほか、暴行・傷害・窃盗・詐欺・横領などの事件に関して指名手配されており、再犯の恐れがあります。

警察では、特に重大な犯罪の被疑者を選定した上で、11月に警察の総力を挙げて追跡調査を行うこととし、早期検挙に取り組んでいます。

この指名手配被疑者の発見に向けた捜査活動には、地域の皆さんからの情報提供などの協力が必要です。

「この前会った人、指名手配被疑者に似ているかも」といった情報など、わずかなことでも結構ですので、警察への通報をお願いします。

被疑者などの情報は、静岡県警察ホームページをご覧ください。

【静岡県警察ホームページ】
<http://www.pref.shizuoka.jp/police/>

島田警察署 ☎ 37・0110